

国語教育相談室

105

小学校



特集

詩の授業を楽しむ！

■書写

書写とことば——蜂飼耳さんインタビュー——

■わたしとことば

いい子だね 久保田智子

いい子だね

「この子はバカなので、このままでは不良になります」担任からそう言われたのは、私が小学校低学年の時だった。のちに母から聞かされたその言葉は、私の心に大きなショックを与えた。

私の家族は引越しが多かった。「バカ」と評された時の私は転校したばかりで、前の学校と比べて進み具合が速かったこともあり、授業についていくのにとっても苦労していた。私の母は担任の言葉に焦り、学校が終わると母の手書きの学習ノートで勉強をさせられた。遊びたいのに、無理やり机に座らされて勉強をさせられたことは苦痛だった。

その後また引越しをした。次の小学校では授業の進み具合が前の学校より遅かった。今度は、私は勉強ができる子になっていた。不思議なもので、勉強ができると、行動も優等生になった。同級生がイジメていた毛虫

を「弱い者いじめはだめ！」と救ったり、放課後の掃除も率先して雑巾がけに励んだりもした。そんな私の姿を見て、担任の先生は「久保田さんはいいい子だね」と褒めてくれた。

私はいいい子なんだ……。先生の言葉は、中学校に入ってから私の支えになった。もっと勉強を頑張ろう、いい子になろうと思いつけることができた。中学では英語が大好きになった。外の世界のことをもっと知りたいと、勉強という感覚でもなく、前のめりに英語に没頭した。そして「バカ」だった私は、アメリカの大学院で修士号を取得した。

「鷹が鷹を生んだのね」大学の卒業式で母は私に言った。私は自分がバカなのか、いい子なのか、鷹なのか、鷹なのかはわからない。しかし、自分が何であれ、これまでの環境のめぐり合わせと、大人たちからの言葉がけによって今に至っていると感じている。どの言葉も私のことを思っていることだったと今は思う。でも、やっぱり私の行動を観察し「いい子だね」と褒めてくれた先生の言葉、そして、優しいまなざしで私に笑いかけてくれた先生の表情は今でもよく思い出す。



広島県生まれ。報道記者。TBS報道局デジタル編集部所属。
2000年にTBSテレビに入社。アナウンサーとして「報道特集」などを担当。
2013年からは報道局兼務となり、ニューヨーク特派員や政治部記者などを担当。
2017年にTBSテレビを退社後、2019年アメリカ・コロンビア大学にて修士号（オーラルヒストリー）を取得。
同年に東京大学大学院情報学環・学際情報学府博士課程へ進学し、戦争の記憶を聴く活動とともにオーラルヒストリーの研究を行う。
2020年にTBSに復職し、現職。米日財団・日米リーダーシップ・プログラム（USJLP）フェロー。

CONTENTS



表紙イラスト 飯田研人

10

02

特集

詩の授業を楽しむ！

「インタビュー」詩の授業をもっと楽しく、もっと豊かに
教えて！ 詩の授業 ● 監修／興水かおり 漫画／あべかよこ

■ 書写

書写とことば——蜂飼耳さんインタビュー——

■ わたしとことば
いい子だね ● 久保田智子

特集

詩の授業を 楽しむ!

子どもと詩の授業を楽しむには? 詩の授業で育てたい力とは?
今号は、筑波大学附属小学校の桂聖先生へのインタビューをとおして、
詩の授業の魅力に迫ります。
国語の妖精コッシーによる解説もお楽しみください。

詩の授業を

もっと楽しく、
もっと豊かに

桂 聖先生 インタビュー

——昔から詩は好きでしたか。

昔から好きだったというわけではなく、
教師になってからたくさん読み始めました。
もともと詩が好きな人は、無意識に詩の意
味を解釈して、なんとなく読めてしまうの
ではないでしょうか。意味を解釈するため
の読みの着眼点を具体的に言語化していく
のが教師の役割です。最初から詩が好きで

たくさん読んでいなくても、詩のよい授業
はできます。

——詩は苦手だと思う先生こそ、詩の授業
が得意になるチャンスかもしれませんね。

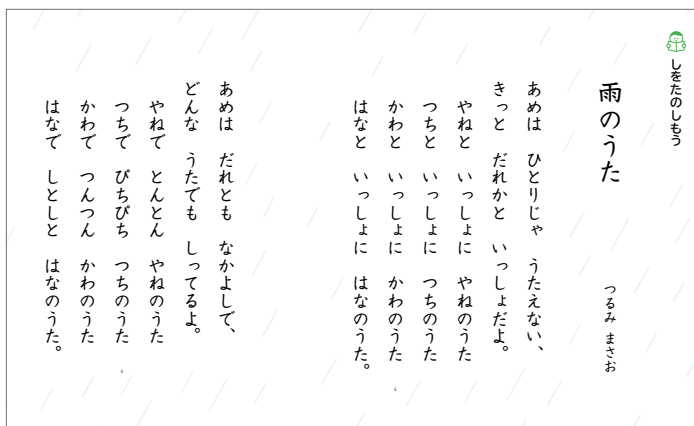
そうですね。よい授業のイメージをもつ
ことが大事です。音読だけではもったいな
い。詩のよい授業を参観したり、詩の指導

に関する本を読んだりする機会が多くある
といいですね。

——詩の授業で何を大切にされていますか。
意味を解釈する力をつけること、つまり、
書かれている言葉から、書かれていない意
味や意図を考えることです。意味を解釈す
る力は、生きていくうえで欠かせません。
同じものを見ても、同じ経験をして、そ
こから得る情報が違ってくる。その力を
つけることのできる経験の一つが、詩を読
むことなのだと思います。

例えば、五年に掲載されている「蛇」
(ジュール・ルナール／岸田国士訳)を読
んでも、文字で書かれた「長すぎる」とい
う言葉の表面的な意味だけを捉える人と、
その場面の状況を思い浮かべる人がいます。
昼、茂みから蛇が出てきた。どんどん出て
くる、長すぎる——と驚いている状況や心情
を想像する人もいるかもしれません。こ
うした解釈は、「いつ」「どこで」「だれが」
といった作品の設定に関する読みの着眼点
をもっているからです。自分なりに意
味を解釈できるための読みの着眼点をもた
せることを大切にしています。

——子どもたちが自分なりに意味を解釈し



▲ 2年上巻「雨のうた」P110-111

ていくための力を授業で養うのですね。

意味を解釈するためには、作品の設定、視点、表現技法、中心人物の変化、主題といった、文学特有の読みの着眼点を知っていることが必要です。その着眼点を子どもたち自身が見つけて、自分ごととして考えることができる授業を目ざしています。

——どのような工夫をされているのですか。

例えば、教師が、「この詩は何音でできていますか」ときけば、子どもたちは、「五音、七音」などと答えると思います。でもそれは教師にきかれたから答えているだけなんです。自分から見つけたわけでもないし、必要感をもって考えているわけでもありません。そこで、詩への出会わせ方を工夫することや、作り手の立場に立たせることを通して、どう書かれているかに自然と目を向けられるように工夫しています。

——詩への出会わせ方の工夫について教えてください。

教科書で扱っている詩は、短い言葉で書かれているので、ぱっと見せると、子どもたちは読んだつもり、わかったつもりになってしまいます。例えば、一行ずつ見せるのも効果的な出会わせ方の一つです。言

語感覚を働かせることができますね。他にも、詩の一部を隠すこともあります。二

年上巻の「雨のうた」(鶴見正夫)ならば、「雨」「あめ」という言葉を隠して提示することで、子どもたちは自然とオノマトペに着目するでしょう。教材やねらいに合わせて、出会わせ方を考えます。

また、教科書は紙幅の関係から複数の詩を同じ紙面に載せることがあります。ページに二作品をプリントアウトして出させてあげるといいですね。感覚を働かせながら、じっくりと味わえます。

さらに、経験を引き付けて読むことも大事です。先日、三年生の授業で扱った詩に「コンダクター」という言葉が出てきました。「コンダクター」を知らなければ、状況を想像するのは難しい。そこで、音楽の先生に指揮棒を振ってもらった経験とつなげる言葉がけをしました。経験がない場合は、写真や動画で補助してもいいですし、国語辞典やタブレット端末を活用して自分で意味を調べる力をつけておくことも大切です。

——その後、作り手の立場に立つことで、読みの着眼点を見つけていくんですね。

段階を踏んでいくことが大事ですね。ま

三年上巻の「わたしと小鳥とすずと」(金子みすゞ)は、主題にせまりたくなる詩です。「みすゞさんがいばん伝えたいことは何?」と問いかければ、子どもたちは最後の連に注目するでしょう。

各学年の三学期には、複数の詩が掲載された単元が配置されていますが、そうした場合は、一人一人が選詩をして、その理由を伝え合う活動を設定してもいいでしょう。

——日々取り組んでいる活動はありますか。

特に、低学年では、音読や暗唱を大切にしています。詩集やアンソロジーから自分で好きな詩を選んで暗唱し、週に一回、朝の活動で発表しています。みんなが同じ詩を覚えるのではなくて、子どもたちが自分で選ぶことが大切ですね。

一(三年生の感覚優位の時期に、詩をたくさん楽しみ、言葉への感覚を養うことが、四年生からの言語生活の土台になります。適切な時期を逃さないようにしたいですね。

——桂先生の授業は、子どもたちがどんどん詩を作っていく姿が印象的です。

表現することによって、自分の思いを開示できる側面もあるのかもしれない。以前、友達関係に悩んでいた子が、工藤直子

ずは、感覚を働かせながら詩と出会い、それをベースに「もしも順序が入れ替わっていたら?」「もしも他の言葉だったら?」といった仮定的な思考を通して、元の詩と比較し、意味を深く考えていきます。

詩の書かれ方に対する問いをもたせるには、作り手になって読み直すことがたいへん有効です。どう書かれているかに目を向けることになるので。例えば、詩の一部分の翻作を仕組むことも効果的です。

——中心となる問いや活動は、どうやって決めていますか。

他の文学作品にも共通しますが、詩の授業も、教材の特性に合わせて問いや活動を計画することが大切ですね。

例えば、先ほど例に挙げた「雨のうた」は、オノマトペに着目した翻作ができます。翻作をとおして、語り手の視点はどこか、心情はどの言葉からわかるかなど、詩を読み返していきます。「音」じゃなくて「うた」と書いてあるから、楽しい気持ち」という子がいるかもしれません。「やねでんぱん」でもいい?」と問いかければ、「歌だから、もっと優しい音だと思ふ」と考える子もいるでしょう。オノマトペにも心情が表れることに気づくことができます。

さんの「のはらうた」の登場人物になりきって、彼女自身の悩みをたくさん詩に書いていました。もやもやした思いを昇華して、現実の世界での折り合いをつけているようでした。詩の創作にはそういう効果もあるのかと気づかされました。

——表現することは大切なことですね。

子どもたちは、表現者の立場に立つときに本気を出します。言葉の感覚を働かせて詩と出会い、そこにある論理を発見し、自分なりに想像して創造する。そうした経験を積み重ねることによって、見えているものから見えていないものの意味について解釈をしたり考えたりする力が育つ。詩の授業での経験が、これから生きる力につながっていくといいなと考えています。

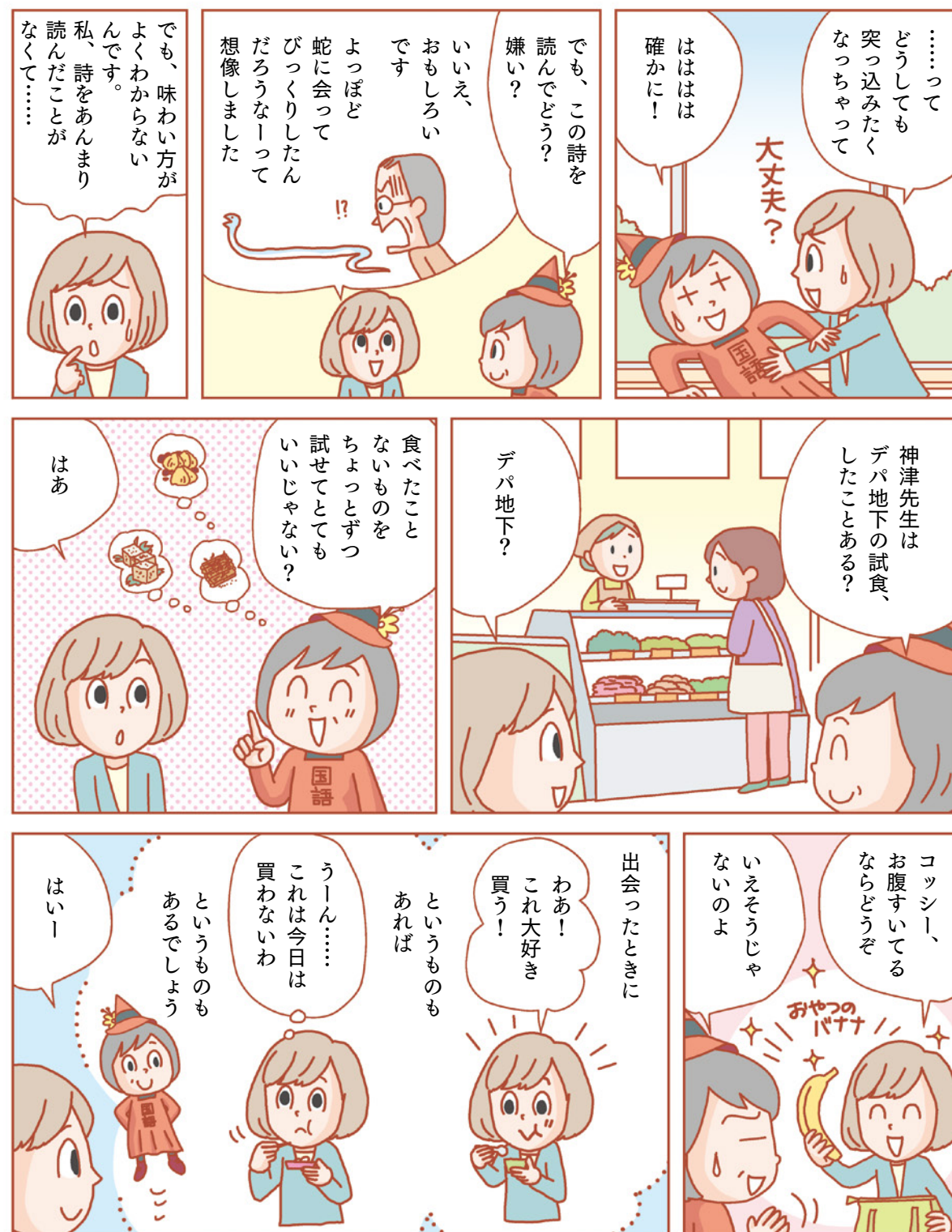


桂 聖

筑波大学附属小学校教諭。筑波大学非常勤講師、日本授業UD学会理事長、全国国語授業研究会理事、『例解学習国語辞典』(小学館)編集委員。著書に、『国語授業のユニバーサルデザイン』(東洋館出版社)、『なぞらずにうまくなる子どものひらがな練習帳』(実務教育出版)などがある。光村図書小学校『国語』教科書編集委員。

奥水かおり こしみず・かおり

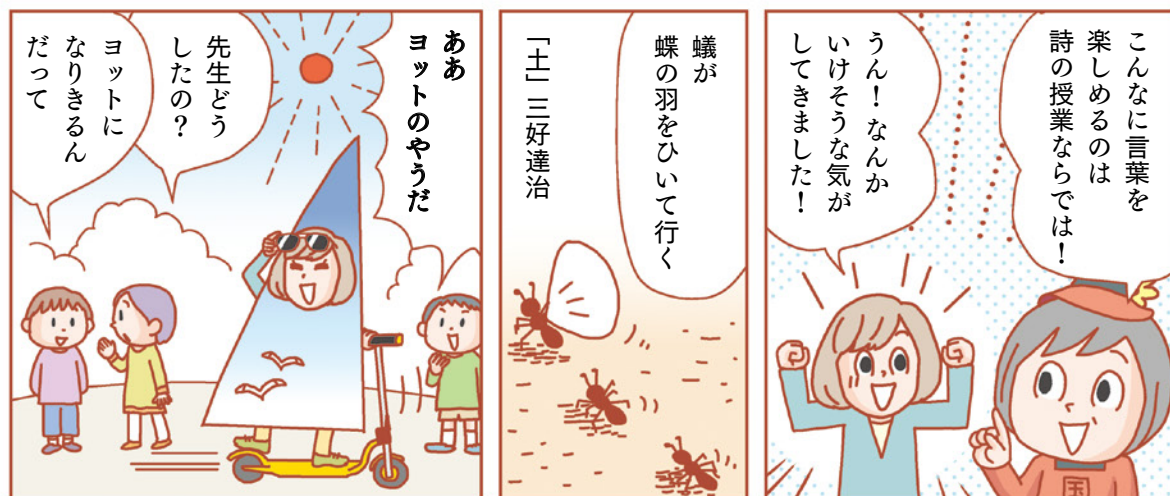
広島県生まれ。元玉川大学客員教授。23年の教員生活の後、港区教育委員会指導主事、東京都教育庁主任指導主事、小学校校長、玉川大学客員教授等を務める。光村図書小学校『国語』教科書編集委員。



教えて! 詩の授業

作・画／あべかよこ 監修／奥水かおり





蜂飼 耳さん インタビュー

令和六年度版小学校『書写』教科書は、詩人・作家である蜂飼耳さんが、新たに編集委員として参加。書写の教科書に「ことば」という観点から関わった経緯をうかがいました。

① 体の動きを言葉で助ける

— 書写の教科書の編集というお仕事はいかがでしたか。

楽しかったです。一定の条件の中で言葉を考えることが新鮮で、おもしろかったですね。

— 新版教科書では、新たな試みとして、「とめ」「はね」「はらい」などの筆使いを表す言葉が掲載されました。

「すうつ」「びたっ」「びょん」など、子どもたちの身体感覚として身につけている動きを擬態語で表すことによって、手の動

きを学ぶ際にも生かすことができると思います。

— 書家の先生にうかがった運筆のポイントをもとに考えていただいたそうですね。

難しい作業でしたが、特に「はらい」の終筆で、鉛筆が少し離れる動きを表すのにかなり試行錯誤しました。何度も検討し、ようやく「すうつ」と かるく とびたつよ。」という言葉が完成しました。他にも、「曲がり」のしつかりゆつくりまわっていく動きを「のんびり『ぐるうり』」という言葉で表現するなどしました。

言葉を唱えながら書くと、書くテンポや細かな動きを自然と捉えられると思います。

江戸時代の句ですが表現が斬新で、現代の小学生がこの句に接してもすぐに意味をとれますし、音も楽しいですね。

— 六年生は谷川俊太郎さんの詩ですね。教科書の詩というと「生きる」が印象深いですが……。

「生きる」は言葉の繰り返しが多いので、書写という観点から考え「こころの色」を選びました。小学生でも受け取りやすい言葉遣いで、これから中学生へと成長していく人たちに向けたメッセージにもなる内容です。特に「世界はみんなのこころで変わる

② 言葉の美しさを書いて味わう

— 新版では、言葉の美しさを味わう「ことば」という教材が各学年に新設されました。どのように文章を選定されたのですか。

さまざまな文字を書く体験ができるような作品、書く時間を楽しめる作品という観点で選びました。

例えば、三年生のことわざは、「犬も歩けばぼうに当たる」や「石橋をたたいてわ

る」という言葉については、子どもたちに考えてもらえたらと思います。

③ 余白のある文章を

— 今回、多くの硬筆教材の文章を蜂飼さんに考えていただきました。

現行版の文章を見直しつつ、必要に応じて新たに文章を考えました。例えば、二年生の書き初めは、情景を含んだ文章にすると、書いていて風景が浮かぶ楽しさがあるのではないかと発想し、「空高く上がりました」という文を加えました。

— 令和二年度版では、「きれいなはず日の出を見ました。新しい一年がはじまります。」という文章ですが、令和六年度版では、「はじめてたこ上げをしました。風をうけて空高く上がりました。」となりましたね。イメージが広がる文章です。

新版では、結論に閉じない、余白のある文章になっているかと思っています。小さくなっている風が風にあおられて、見上げて眺めている景色が周辺に広がっていく。そうした時間や空間の余白を私自身も感じながら書きました。



はちかい みみ
蜂飼 耳

神奈川県生まれ。詩人、作家。光村図書小学校『国語』『書写』教科書編集委員。2000年『いまにもうるおっていく陣地』で第5回中原中也賞、2006年『食うものは食われる夜』で第56回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。他の著書に絵本『うきわねこ』（ブロンズ新社）、エッセイ集『孔雀の羽の目がみてる』（白水社）、『秘密のおこない』（毎日新聞社）、『おいしそうな草』（岩波書店）、童話集『のろのろひつじとせかせかひつじ』（理論社）、小説『転身』（集英社）、書評集『朝毎読』（青土社）などがある。

国語

学習指導書 総説編

1～6年 全1冊 6,600円(税込)

学習指導書

(本冊／図説 デジタル教科書・教材活用ガイド／CD・DVD・CD-ROM付)

※CD、DVDには、「読むこと」「伝統的な言語文化」に関わる朗読音声と、「話すこと・聞くこと」教材に対応した動画資料を収録。CD-ROMには、振り仮名付きの紙面データと、「読むこと」教材の分かち書き紙面データ・本文テキストデータを収録。

1～6年 各学年3分冊 29,700円(税込)

学習指導書別冊(朱書編)

1～4年 各上下巻 4,180円(税込)

5・6年 各1冊 7,150円(税込)

授業に役立つワークシート集

※CD-ROMには、本編のワークシートをPDF化して収録。

1～6年 各学年1冊 3,850円(税込)

書写

学習指導書

(本編／朱書編／図説 デジタル教科書・教材活用ガイド／硬筆ワークシート／毛筆原寸大資料／付属DVD-ROM①・②付)

※付属DVD-ROM①には、指導者用デジタル教科書(教材)を収録。

※付属DVD-ROM②には、手本作成ソフト「お手本くん」を収録。(3～6年)

※1・2年には、水書シートを付録。

1・2年 各学年 8,800円(税込)

3～6年 各学年 11,000円(税込)

書写指導の方法

3,300円(税込)

令和6年度版

学習指導書のお知らせ



▲ 令和6年度版小学校『書写』教科書

——二年生の「原稿用紙の使い方」のソメイヨシノを取り上げた文章も、内容の広がりがありおもしろいですね。

書写の観点から、片仮名を含んだ文章にしてほしいという編集部からの依頼もあり、「ソメイヨシノ」をテーマに考えました。「ソ」や「シ」は、斜めの払いが難しい子も多いそうですね。

「桜」というと、薄いピンクのソメイヨシノをイメージしてしまいましたが、実は、白っぽい山桜もあるし、遅めに咲く八重桜もある。桜という日本文化を代表する花の背景にあるものも知ってほしいという思いも含めて書きました。

4 特別な、書写の時間

——蜂飼さんにとって、子どものころの書写の時間は、どんな時間でしたか。

私にとって、書写の時間は、「墨の香り」でした。他の授業とは違う香りのする時間。その中で静かに落ち着いて、一文字一文字を書く。前後の授業とは切り離された特別な時間という感覚がありました。

そして、墨をするという行為。一人一人が手を動かして、硯の「海」と「陸」を行ったり来たりしている。その中で書の世界に徐々に入っていく空間が好きでした。

——子どもたちには、どんな書写の時間を過ごしてほしいですか。

今の生活は、手や指、手首を細かに調整しながら動かすという機会が格段に減り、身体感覚自体が変化しているように思います。だからこそ、書写の時間に言葉を唱えながら手を動かしたり、さまざまな文章に触れたりしながら、書くことを楽しんでもらえたら嬉しいです。

そうした時間を、これからも言葉の面から補っていければと考えています。

国語の授業が **もっと** 充実する 光村のデジタル教科書！



令和6年度版 小学校教科書準拠 国語1～6年

光村図書 デジタル教科書 & デジタル教材

商品ラインナップ

指導者用デジタル教科書(教材)	[教員用フリーライセンス]
学習者用デジタル教科書+教材	[ユーザーライセンス]
学習者用デジタル教科書	[ユーザーライセンス]

詳しい
商品情報は
こちら▶▶▶



光村図書
ウェブサイト

光村図書

検索



小・中・高等学校
教科書訂正の
お知らせ



光村図書 LINE
公式アカウント
友だち募集中！



内容解説資料

小学校 国語教育相談室 105号 2023年12月1日発行

発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話：03-3493-2111
www.mitsumura-tosho.co.jp

印刷所 協和オフセット印刷株式会社
デザイン mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」
にのっとり、適切な管理・保護に努めてまいります。
詳しくは、光村図書ウェブサイトをご覧ください。

【教育情報誌に関するお問い合わせ先】
住所変更・配送停止：ej1@mitsumura-tosho.co.jp
ご意見・ご感想：koho@mitsumura-tosho.co.jp



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C020246



光村図書